

子育て支援センター移転先候補地(案)

	名称	住所	敷地面積	建築面積	建築年	経過年数	耐震診断	改修歴	メリット	デメリット
1	旧さくら保育所	永井野字宮前 地内	2,658㎡	641.2㎡	1986年	35年	○	屋根塗装 屋根破風板改修？	・保育所として利用していたため部屋数や園庭の広さは十分確保できるとともに、幼児用のトイレや調乳室・沐浴室等乳児の保育に必要な施設が完備されている。 ・こども園きぼうにも近い。 ・部屋数が多く、変形した配置のため、例えば子育て支援センターと縁結びセンターと教育相談室など、複数の組織が区切って使える。 ・静かでゆったりとした環境の中で、のびのびと過ごせる。	・建築から大規模改修をしておらず、長期間使用していないため利用できる状況まで復旧費用がかかる。 ・駐車スペースが少ない ・部屋の配置が単純ではないため、利用者へ目が届きにくいと感じられる。 ・町の中心部より離れている。
2	本郷こども園 (乳児部棟)	字北川原 地内	4,897㎡	945.75㎡	1999年	22年	○	2016年8月：外壁、屋根 塗装工事	・保育所として利用していたため部屋数や園庭の広さは十分確保できるとともに、幼児用のトイレや調乳室・沐浴室等乳児の保育に必要な施設が完備されている。 ・場所が分かりやすい ・老人福祉施設と接続しているため高齢者との交流も図れる。 ・駐車スペースが確保できる。 ・近くに医療機関がある。(病児保育の可能性あり？)	・現在、本郷こども園としてして利用しているため、本郷こども園の移転先等が決まらないと利用できない。 ・老人福祉施設と一体となっているため管理が難しい。 ・高田から本郷地域へ移転することになる。
3	あやめの湯	下堀字中川 地内	－	691.2㎡	1994年	27年	○	不明	・大広間は50畳以上のスペースが確保でき、ワンフロアで目が届きやすく管理しやすい。 ・もともと温泉施設であるため湯舟があり、水浴びができる。 ・隣に保健センターがあるため、保健師との連携が期待できる。	・エレベーターの保守点検等、施設設備の維持管理費用がかかる。 ・階段の段差が大きく、上り下りの際に危険。 ・子育て支援センターとしては1階フロアのみで十分。2階は必要ない。 ・乳幼児用トイレや洋式トイレ、調乳室・沐浴室等、子育て支援センターとしての設備の改修が必要である。 ・駐車場が狭く、保健センターやあやめ荘(社会福祉協議会)と共有のため、行事調整が必要と思われる。
4	あやめ荘	下堀字中川 地内	－	1,223㎡	1994年	27年	○	不明	・南側の休憩室(5室)を、一時保育室・遊びの広場・図書コーナー・事務室等に、調理室を調乳室に活用できる。 ・大人数が参集する子育てイベントは大広間を使用することができる。 ・隣に保健センターがあるため、保健師との連携が期待できる。 ・社会福祉協議会事務局があるため、社会福祉協議会と連携し異世代交流等の新たな展開が期待できる。	・乳幼児用トイレや洋式トイレ、調乳室・沐浴室等、子育て支援センターとしての設備の改修が必要である。 ・駐車場が狭く、保健センターやあやめ荘(社会福祉協議会)と共有のため、調整が必要と思われる。 ・休憩室は全て和室のため、フローリングへの改修が必要か。 ・健康ふくし課所管であり、会津美里振興公社へ指定管理業務委託している。
5	宮川児童クラブ館	富川字松ヶ下 地内	－	169.34㎡	2010年	11年	○	－	・比較的新しい建物である。	・乳幼児用トイレや洋式トイレ、調乳室・沐浴室等、子育て支援センターとしての設備の改修が必要である。 ・全体の面積が狭い。 ・駐車場は、宮川小学校と共有。 ・宮川児童クラブを全部宮川小学校校舎に移動する必要がある。